

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 3月 10日

事業所名 特定非営利活動法人シャイン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	4		体育館を使用し体を 動かせる場所を確保 しています。	ご本人の気持ちの切り替えなど 個別に配慮が必要な場合につ いて別室を確保しておくようにし ていきます。
	②	職員の配置数は適切である	5	3		国の人員配置基準を 守り配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている		5	3	建物の構造上完全な バリアフリー化は難し い状況です。	必要に応じて危険のないように 職員が補助し安心安全な支援 をしています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参画 している	3	5		職員会議、担当者会 議等で現状、課題、 見直しを図っていま す。	引き続きPDCAサイクルを意識 して支援の共有を行っていきま す。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	8			会報で協力をお願い しています。	検討、改善に繋げていく為に引 き続き協力をお願いしていきま す。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8			2017年よりホーム ページにて公開して います。	引き続きホームページにて公開 していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			8	関係機関や保護者の見 学等の実施により外部 の意見を参考にしていま す。	第三者委員会による外部評価 について検討課題としていきま す。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6	2		内部・外部研修への 参加をしています。	引き続き職員の資質向上の為 研修への参加を行っていきま す。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	3		面談や日々の観察に より客観的、多角的 な視点から計画作成 を行います。	引き続きニーズや課題を分析し 具体的な計画の作成に努めま す。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4	4		外部での発達検査結 果や関係機関と連携 し状況を把握してい ます。	日々の支援の中からの行動観 察も含めて適応行動の状況を 確認します。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4		会議を開催し計画作 成を進めています。	引き続き職員全体で理解でき るよう職員会議で共有を図りま す。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	3		新しい課題を取り入 れたり支援ツールの 見直しをしています。	適宜見直しを図っていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	4		利用日毎に活動内容 を設定し支援を行 います。	活動内容の振り返りを行い課題 の設定を行っていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	5	3		状況に応じて個別対 応や小集団、集団を 組み合わせ活動を行 います。	状態を把握し活動の組み合わ せを見直ししながら計画を作成 していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	3		支援開始前に打ち合 わせを行い、その日 の注意点や職員の動 きについて確認を行 います。	更に職員間の連携を図る為非 常勤職員との情報共有も行って いきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	4	2	必要な報告、連絡を 行い職員間で共有で きるようにしていま す。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2		日々の支援について 個別の記録を行って います。	支援の検証・改善に繋がるよう な記録方法について内部指導 を行っていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	8			6か月に一度見直し を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	4	4		学校との連携を図りながら支援を行います。	地域交流の機会の提供が少ない為今後の検討課題としていきます。
	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	3		児童発達管理責任者、管理者、担当者など適任者を選定し可能な限り出席します。	会議への出席ができる体制を構築していきます。
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	3		保護者の方を通してや学校との直接的なやり取りで情報を共有しています。	
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6		現在医療的ケアが必要なお子さんのご利用はありません。	ご利用がある際は会議への出席を通して情報の共有、連絡体制を整えています。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			情報共有を行っています。	
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			移行会議への出席により情報提供を行っています。	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5		研修が開催されたときには可能な範囲で参加しています。	センター等の機能の情報収集を行い活用できるようにしていきます。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	4	法人主催のイベントを開催し交流の場としています。	交流し活動する機会が少ない為今後の検討課題としていきます。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	6	1	積極的な参加はありません。	要請があれば参加できる体制を作ります。地域連携を図っていきます。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	3		日々の送迎で話をする機会を設けています。	話しやすい支援体制を構築し、必要に応じて場を設定できるよう努めます。
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	5	保護者の方向けの研修会やペアレントプログラムは行っていません。	保護者の方向けの研修会の開催など、今後の課題とします。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に説明を行っています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	6		保護者からのお話は会議等で検討し支援に反映しています。	相談に沿って行う支援の目的と経過等について保護者との情報共有を行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	5	保護者会は開催していません。	ニーズがあった場合は行っています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	3		電話や訪問により迅速な対応に努めています。苦情受付については重要事項説明書により伝えていきます。	引き続き迅速な対応に努めています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		月に1回のおたよりで活動予定や内容をお伝えしています。	引き続き有益な情報を発信できるようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑤	個人情報に十分注意している	8			職員と個人情報の取扱いについて念書をかかし勤務しています。	引き続き注意していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			写真や絵カードの使用によりお子さんに合わせた意思の疎通を行っています。	それぞれのお子さんの意思表出の方法を理解しながら配慮を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			法人主催のイベントについて回覧板等でお知らせしています。	今後も積極的に事業所の周知を図っていきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。	職員や保護者に対し周知を図っていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			定期的に避難訓練を行っています。	引き続きおたよりで実施についてお知らせしていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			虐待防止委員会、研修委員会を設置し研修を計画、開催しています。	引き続き内部、外部の研修への参加を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		身体拘束適正化委員会を設置して、身体拘束の必要性について検討を行っています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	5		保護者の方からの情報により対応しています。	指示書がある場合は職員間での共有を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4		対象事例があった場合は報告書を提出し会議で共有しています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。